

# 光市記者発表資料

平成28年11月22日

件名 2017年(平成29年)版「カレンダー」、「土鈴」及び「光探訪かるた」の贈呈について

内容

## 1 趣旨

障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な障害福祉サービスの充実を図り、もって障害者(児)の福祉の増進に資するため設置している、光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」で毎年作成しています、2017年(平成29年)版カレンダーが完成しました。

また、今年度は、光探訪かるたを新たに作成しましたので、あわせて市川市長に贈呈のため市長室を訪問します。

## 2 日時

平成28年11月25日(金) 10:30から

## 3 場所

光市役所本庁2階 市長室

## 4 来訪者

光市心身障害者福祉作業所 利用者 穂本 伸一さん  
中原 伸二さん  
刃山 賢吾さん  
付添い 刃山 君江さん  
所長 小川 浩一

## 5 贈呈品

### (1) 偉人伝カレンダー

タイトル:「性空上人と室積」

原画:田中 義雄さん パソコン画:穂本 伸一さん

### (2) 書き込みカレンダー

短歌:中原 伸二さん 挿絵:田中 義雄さん

### (3) 光探訪かるた

入力:刃山 賢吾さん

### (4) 来年の干支(酉の親子)土鈴

色付け作業:光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

問合せ 担当課 光市福祉総務課障害福祉係

担当者 梅永 理紗

電話 0833-74-3001

## 2017年(平成29年)カレンダー、土鈴及び光探訪かるたの贈呈式

平成28年11月25日(金)

市役所2階市長室 10:30~

- 1 開式
- 2 出席者紹介
- 3 カレンダー、土鈴及び光探訪かるたの贈呈
- 4 市長謝辞
- 5 写真撮影
- 6 歓談
- 7 閉式

### 来訪者

光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

利用者	穂本	伸一さん
	中原	伸二さん
	刃山	賢吾さん
付添い	刃山	君江さん
所長	小川	浩一

### ○偉人伝カレンダー

タイトル：「性空上人と室積」

原画：田中 義雄（元福祉作業所所長）

パソコン画：穂本 伸一（福祉作業所利用者）

編集・印刷：光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

### 過去の偉人伝シリーズ

2008年版 銀のかんざし『松岡フジ』

現室積小学校を作った話

2009年版 魚ヶ辺の道づくり『田村権十郎』

- 恋ヶ浜あたりの道づくりの話
- 2010 年版 灯台を作った人『松村屋次郎左衛門・亀松親子』  
室積の灯台の話
- 2011 年版 シベリア横断『玉井喜作』  
単独でのシベリア横断達成 日独貿易に貢献
- 2012 年版 明治の天才画家『巖島虹石』  
新しい日本画壇の担い手と期待されたが34歳の若さで死去
- 2013 年版 倒幕戦に散った忠節の士『松岡梅太郎』  
戊辰戦争で活躍、後に箱根で銃弾に倒れ死去
- 2014 年版 千本の卒塔婆流し『平 康頼』  
鹿ヶ谷の陰謀を知られ島流し 途中立ち寄った室積で出家
- 2015 年版 『伊能忠敬と室積』  
江戸時代、日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を  
完成させた人
- 2016 年版 『山頭火 室積を行く』  
自由律俳句の中でも最も著名な昭和の歌人の一人。
- 2017 年版 『性空上人と室積』  
存命中から多くの霊験があったことが伝えられ、書写上人とも呼ば  
れる。

偉人伝シリーズ以前・・・

民話シリーズ（2001年～2007年） A3版

- ・鬼飛彦兵衛
- ・かなやまひこ
- ・牛鬼
- ・永代橋の河童
- ・五坊山の仁王さあ
- ・島田川のだいじゃ
- ・やまんばの涙
- ・鵜攻めの城の七作

花シリーズ（1999年～2000年） A4版

今年度で、偉人伝カレンダーは終了となるが、来年度は、利用者3名の共同作品(歌：中原、絵：穂本、文字入力：外山)で、身体障害者の理解を深めるカレンダー作成を予定している。

## ○書き込みカレンダーについて

一昨年より、作業所の利用者である中原氏の素直な視点で綴られた自由詩を掲載。自由詩が5行詩ということもあり、短歌にも興味を持ち徐々に取り組み始め、去年度から本格的に指導を仰ぎながら学んでいる。

平成27年度のNHK全国短歌大会では、「車椅子」というタイトルで障害を持つ人の歌を詠み、近藤芳美賞で奨励賞を受賞する快挙を達成された。

短歌作者：中原 伸二さん

挿絵：田中 義雄（元福祉作業所所長）

編集印刷：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）

## ○光探訪かるた

作業所の印刷業務の名刺作成の一環として、始める。

読み札50枚・取り札50枚にして室積から始め、光井、浅江、島田そして大和と、順次作成。

「古里の歴史を風化させることなく、子孫に伝え続けていこう」

「室積・光井・浅江・島田・大和の歴史は、伝えなければ確実に風化する」という一念で、完成させた。

また、室積探訪かるたには英語版もあり、世代・言語を超えて交流ができる。

編集印刷：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）

## ○親子酉の親子土鈴

色付け作業：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）